

一人ひとりの夢・思いを大切に 福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

- (一) らうんじ
- (二) 平成31年度 基本方針・運営方針
- (三) サービスの質の向上を目指して
- (四) しなふく向上発表会
赤い羽根共同募金 表彰
- (五) ボランティア紹介 八潮SC
大井三丁目紹介 縁側カフェ(マッサージ)
- (六) 豆知識/後援会のご案内/しなふくの窓(豆まき・施設の鬼たち)

らうんじ

新しい年度が始まり、皆様一人ひとりが、それぞれの場所で新しいスタートを切られていることと思います。

心身障害者福祉会館の指定管理事業を通じて、法人は品川区の障害者福祉の向上、発展に全力で取り組んでまいりました。今後も引き続き法人として品川区の障害者支援を担うため、昨年「簡易型プロポーザル」に応募しました。その結果、引き続き当法人が事業運営を担うことになり身の引き締まる思いです。平成三十一年度からの五年の事業運営の計画として、法人は「地域共生型サービスの提供」、「就労継続支援B型事業所の開設」に取り組みます。

また心身障害者福祉会館の運営を通じて、生活支援センターは「知的、身体、児童、精神障害者の相談支援」を行い、生活介護事業は「医療的ケアの必要な利用者の受入れ」を進め、自立訓練事業は「アウトリーチ型訓練の提供と障害者版専門学校的支援」を構築し、地域活動支援センターは、「移動支援ヘルパー養成」を始めます。それぞれの事業で品川区の障害者福祉の向上に、法人が一九となつて取り組んでいきたいと思ひます。

品川区心身障害者福祉会館

施設長 萩原幸寿

社会福祉法人 品川総合福祉センター

平成三十一年度基本方針・運営方針

平成三十一年度は次の基本方針をもとに、重要課題の解決に向けて法人経営を進めます。

一・基本方針

昨年度に現在の法人の重要課題を明らかにし、その解決に向け平成三十一年度から三年間の法人中期経営計画を策定しました。その進捗管理を的確に進め、各年度の取組みを実効性のあるものにしていきます。

二・重要課題

中期経営計画に則り、以下の三点とします。

①利用者サービスにおいては、利用者の人権への配慮、利用者特性の理解に基づいた支援と環境の提供、利用者ニーズを中心に据えた支援を進めます。また、職員には、より専門性の高い支援と対人援助専門職としての人権意識および

び倫理観を教育していきます。

②人材の確保において、社会全般の労働人口減少による介護人材不足がさらに顕著となる中、優良な人材を採用し、丁寧な育成、良い状況での定着に力を尽くします。

③近來、介護報酬、給付費収入が伸び悩む一方で人件費関連費用が増大し、各事業とも適正な収支バランスを確保することが困難化していま



本部 園芸サークルで
「品川カブ、大きくなーれ！」

す。各事業とも良質なサービス提供に伴う加算対応等を進め、収入の確保、稼働率向上、一方で創意工夫によるコスト削減に向けた対策を講じます。

今年度は特にこれらの課題解決に取り組む、社会福祉法人として継続性をさらに確かなものにしてまいります。

さらに事業活動については

①品川区立心身障害者福祉会館の指定管理継続に際し、区民ニーズに対応した事業展開を進めます。

②移動支援従業者養成研修の開講準備を進めます。

③荏原地区の障害者施設開設の準備を進めます。

④中延在宅サービスセンター



ふくし祭りで舞台に立ち、リズム
舞踊を踊り終えて、はい、ポーズ！

において共生型生活介護事業を開始します。

⑤八潮南特別養護老人ホームの経営再建に向け、情報収集、業務改善を継続します。

⑥各事業とも利用者の高齢化、障害程度の重度化に対応するため、医療体制の強化を進めます。

以上のとおり、当年度も品川区内において必要な福祉事業の拡充など、法人の理念に則り法人経営を進めてまいります。

サービスの質の向上をめざして

～利用者の生活を守り、幸福追求支援～

社会福祉法人の設置目的は、社会福祉事業を行うこと、利用者に対して良いサービスを提供することです。当法人は0歳から百歳以上の利用者に対し入所、通所、あるいは相談による支援サービスを提供する対人援助サービスです。サービスの内容は、介護、支援、保育、相談などで、第一に利用者の生活を守ることで、それは生活課題の解決を進め、安心安全で不安のないやさしさの日常を整えること。次に幸福追求の支援を進める



土いじりで、リフレッシュ！
見てください。この笑顔！
(本部の園芸サークル)

こと。楽しく、活力、生きがいある利用者の人生を支えます。その具現化に向けて当法人では「サービスの検討、計画、実施、検証」「サービスの向上を進めるための職員教育」の二本立ての体系により利用者サービスの質を高めていくことを検討しています。その手順は法人全体で基本方針を立て、各事業所でその実現に向けて具体策を検討、実施します。

昨年末に実施しました「利用者の皆さまにお願いする職員の接遇状況調査」の際もお聞きしたい要旨に沿い、各事業所とも皆さんの本音をお聞かせいただくように質問の仕方を工夫しました。

また、当法人には苦情解決第三者委員会、サービス点検調整委員会という有識者等による外部委員で構成されたサービス点検、検証機関があります。その専門委員が定期的に利用者へのヒアリングや施設内視察を行い、法人からの苦情等の解決に向けたご助言等をお願いしています。

一方で、利用者サービスの質の向上を進めるには実際に利用者に対する職員の教育が最も重要です。そのために当法人では採用年ごとの階層別（初級・中級・上級）研修を実施、ことに採用時の研修を重視、法人理念、対人援助の基本的な姿勢等綿密に



「貼り絵、上手にできたでしょ」
大井三丁目高齢者憩いの場の
ひなたぼっこにて

指導します。

その他「強度行動障害」など支援、介護技術の修得なども毎年度職員の要望等に沿い企画します。

各事業所では毎年度現任研修計画を立て、繰り返しその事業に必要な知識や技術の修熟を進めます。

以上のように法人全体においてサービス向上を手掛けています。その際には前述のように諸委員会の外部委員や、多数のボランティアの皆さん、その他様々な関係機関の多職種の方々の協力もお借りします。

品川総合福祉センターでは
長年「赤い羽根共同募金活動」
を行い、この度その活動に対
して東京都共同募金会様より



感謝状を届けてくださった、

東京都共同募金会

事業部近江課長と小野常務理事

感謝状
を頂き

赤い羽根共同募金活動

感謝状 授与



地域で安心して暮らすことを
目的としています。最近では、
地域福祉の課題解決に取り組
む民間団体を応援する「じぶ
んの町を良くするしくみ」づ
くりに取り組まれています。
当法人でも、平成二十
五年度に大規模改修に伴
い特別養護老人ホーム
「かえで荘」のテレビ台
と特注ロッカー、平成三
十年には障害福祉サービ
ス「サンかもめ」では電
動ベットの入れ換えの際、
助成を受け購入すること
が出来ました。ご寄付を
いただいた施設では、利
用者の処遇向上に繋がり
大変有難く活用させて頂
いています。今後も、引
き続き「共同募金活動」
を行って参ります。

職員街頭募金の様子



しなふく向上発表会

本年二月一日、法人職員百
八十名が参集し「しなふく向
上発表会」が開催されました。
本年も法人内各施設が取り組
むサービス向上委員会の活動
内容や成果を発表、共有化す
ることにより、事業所相互の
情報交換・相互啓発を進める
ことを目的に、四事業所が発
表しました。

かもめ園（身体）では利用
者の高齢化・障害重度化に伴
い表面化してきた諸問題解決
に向けた委員会活動を進め、

①サービス・支援の統一化②
リスク管理・感染症対策・事
故予防③医療的ケアと楽しい
食事④虐待防止の四課題の取
り組みについて発表。ことに
④では「褒められたら笑顔に
なっちゃうキャンペーン」と
銘打ち、職員同士が良いとこ
ろを褒め合い、コミュニケー
ションを上達させることを狙
いに実施しました。
サンかもめの課題は利用者
の高齢化、障害程度の重度化

への対応等、全
ての利用者が笑
顔で楽しい時間を過ごせるよ
うに前向きにチーム全員で検
討、「明るく楽しいサンかも
め」を目指します。

中延特別養護老人ホームで
は「選択できる生活」をテー
マに「夜にお風呂に入りたい。」
と希望される方を対象に夜間
入浴を試行、毎日入浴たい方
には週に三回以上入浴できる
環境を作ることを進めてきま
した。

グループホーム八潮南では
「寄り添う」をキーワードに
同じ志を持つ仲間Ⅱチームと
考え、チームで悩み、相談で
きる環境を整え、研修への参
加等により認知症に関する理
解を深め、「利用者が安心し
て生活していける環境作り」
を目指しました。今回も身近
なテーマから、小さな一歩が
大きな向上につながる内容で
当法人の大切な発表会が閉じ
られました。





ご利用者様を温かく指導して下さいます。いつも見守ってくださいます。

八潮在宅サービスセンターで月に二回、第二と第四曜日の午後には書道を教えてくださっている大口操様の紹介をしたいと思います。

平成十九年からデイサービスの書道サークルの講師として来所してくださるようになりました、もうかれこれ十二年間、デイサービスで活動をしてくださっています。

来所されると、まずその日に行う題字を選ぶことから始まり、季節に沿った題字を選択して参加される利用者に配ります。時に「こうした方がいいですよ」等、参加者の



時には麻雀の助っ人ボランティアも

確なアドバイスをしてくださり、気持ちよく書いていただくことをモットーにしてください。

最近では、麻雀のメンバーが足りないときに「参加してもいいよ」と麻雀サークルにも参加していただくようになりました。

大口様をはじめ、ボランティアをしてくださっている方々のおかげで、利用されている皆様に満足度の高い援助を提供できています。これからどうぞよろしくお願い致します。

大井三丁目高齢者憩いの場

緑側カフェ 『リラックス&リフレッシュ』をご紹介します



国家資格を持った施術士によるマッサージ

「大井三丁目高齢者憩いの場」にて第一・第三金曜日午後『リラックス&リフレッシュ』をご紹介します。

この時間は、ボランティア登録をしていただいている施術師のマッサージによる「リフレッシュ」、手のぬくもりや、合間の一杯のお茶による「リラックス」を感じられるひと時を大事にしています。

体ほぐしや、痛みやむくみ等の緩和が体験できます。生活



「強くないですか？」
「ああ、ほぐれるわ〜」

上でのリハビリに関する助言も受けられます。

お茶を飲みながら過ごせる場に、本格的なマッサージも体験できるとあって、短時間ながら楽しみに通ってくださる方が増えています。玄關から「今日はさく、マッサージさんの日だからね〜」という声とともに、利用者が入って来られることもありました。

傾聴もして下さるので、マッサージだけでは無い「リラックス&リフレッシュ」の効果も期待できます。

一杯のコーヒーを楽しみにしてください。窓から差し込む日差しや庭の緑に和まれる方が多くいらつしやいます。一つの場で、いろいろな楽しみが持てる人気のプログラムとなっています。

花粉症と果物の関係

皆さん、口腔アレルギー症候群（花粉・食物アレルギー症候群）をご存知ですか？生の果物や野菜を食べると…なんだか口の中や喉が痒くなったり、いがいがしたり…という花粉症の方はいらっしゃいませんか。

これは、花粉と果物・野菜に共通した部分があるため、体が反応して口腔アレルギーを起こすものです。シラカバ科（シラカンバ・ハンノキ）の花粉症↓バラ科（りんご・もも・さくらんぼ・あんず・アーモンドなど）やセリ科（セロリ・人参）やナス科（ポテトや豆科（大豆・ピーナツ）やマタタビ科（キウイ）やカバノキ科（ヘーゼルナッツ）やウルシ科（マンゴー）など。ヒノ

豆知識

キ科（スギ）の花粉症↓ナス科（トマト）など。イネ科（カモガヤ）の花粉症↓ウリ科（メロン・すいか）やナス科（トマト・ポテト）やミカン科（オレンジ）やマタタビ科（キウイ）や豆科（ピーナツなど）など。キク科（ブタクサ）の花粉症↓ウリ科（メロン・すいか・ズッキーニ・きゅうり）やバショウ科（バナナなど）など。花粉症によって反応する果物・野菜が違います。最近では子どもにも増えているそうです。毎日、何気なく食べているものでも知らないうちに口腔アレルギー症候群になることがあります。

花粉症をお持ちの方は頭の片隅に覚えておくといいですね。



後援会のご案内

法人本部の花壇整備など法人が運営する施設の整備や充実を図るために活動しています。皆様のご協力をお願いします。

会費は、月額一口三百円、一年分三千六百円となります。

後援会事務局 地域福祉課
・電話

〇三三七九〇・四八三九

お知らせ

苦情解決第三者委員会の直通電話ができました。

ご利用ください。

- ・受付時間…土日祝・年末年始を除く、月曜～金曜日の 九時～一七時
- ・電話番号…みなしなふく 〇一二〇―三七四七二九

しなふくの窓

このコーナーは、品川総合福祉センターで、普段は目に留まらないちょっとしたホットなものを、「窓」を通して写真で紹介していくコーナーです。



八潮中保育園の鬼

今回は、二月に各施設で行われた節分の豆まきに、現れた施設の鬼達をご紹介します。

ぶつかっても痛くない柔らかい金棒を振りかざし、大きな声をあげて工夫を凝らした鬼たちが福と笑顔を届けに来ます。時折、動きがスローで退治しやすくなっているのです。邪気を追い払い無病息災を願います。



中延在宅サービスセンターの鬼

大活躍です。